

の責務として定めた「反射板の装着」があるので、街頭活動での啓発品として配布し、交通事故の抑制効果を検証するなどして、市としての独自性を出すことができるか検討する。

公共交通完備白地域への対応を

伊藤美枝子議員

問 市内循環バスの基礎アンケート調査から1年以上が経過している。路線バスが廃止された地域は市民生活に多大な影響を及ぼしており、早急な対応が必要。進捗状況は。

交通量増加に伴い安全対策を

伊藤美枝子議員

問 環境センターの余熱

答 一定規模の乗客が見込めるエリアは、民間バス路線の参入なども視野に入れて市全体の利便性向上につながる方法を検討し、公共交通として使いやすいシステムを構築していきたい。

東部地域に民間バス路線の新設を

谷 新一議員

問 東部地域への民間バ



利用施設「エコパ」オーブンに伴い、交通量の増加・事故が懸念される。通学路の安全対策を。答 毎朝、正門や横断歩道等で指導を行い、安全確保に努めている。今後交通量が増えることを考慮し、これまで以上に交通安全指導をしていく。

三芳町境の西原住宅交差点の安全対策

伊藤初美議員

問 三芳町と協議し、交

答 信号機を両面信号機に変え注意喚起の看板を設置した。三芳町では、



西原住宅前の交差点

鉄道会社等と共同して事業を進めなければならない。現在、東武東上線改善対策協議会を通じて要望している。

公民館・分館の存続を

新井光男議員

問 分館には、教育機関

答 公共施設適正配置計画では、平成29年度までに分館機能の見直しを行うことになっている。分館のあり方について整理した上で地域住民の意見を聞き、検討する。

水宮地域などの浸水対策を

足立志津子議員

問 水宮地域などの浸水

答 県などで構成する河川・下水道事業調整協議会で、なるべく早く方向性を出したい。

木造住宅密集地域の火災延焼防止対策

塚越洋一議員

問 木造住宅密集地域の

答 木造非木造分布図・不燃領域図・消防水利図が10月末ごろまでに完成する予定。

感震ブレイカーの設置補助

足立志津子議員

問 地震時の電気関係防

答 課題があり補助実施の予定はないが、市報の防災特集や市ホームページで器具について啓発したい。

市民と行政の協働推進を

…危機管理

消防団の活動支援を

島田典朗議員

問 消防団等充実強化法では、市に対し、市職員

答 大規模災害時、市職員は市の非常時体制の一員ともなる。加入促進を進めると同時に、非常時における取り扱いを検討していく。

消防団の処遇改善と装備の充実

西 和彦議員

問 消防団支援のための

答 今後も消防団員の処遇が活動に適正なものか検討して、改善に引き続き努めていく。また、装備については、計画的に対応していく。

火災警報器で安全・安心を

島田典朗議員

問 単身高齢者などと隣近所に、無線連動機能を持つ住宅用火災警報器を設置し、共助へ生かせないか。

答 近隣での合意が得られれば、有効なものであると考える。

問 空き家と近隣住宅を無線で連動させ、空き家

活発な市民活動

鈴木啓太郎議員

問 市民活動支援セン

答 利用団体が130団体に増加しており、コーディネートによる相談、情報提供や団体間のネットワークの構築などが行われている。今後は、市民活動団体の自主性を尊重しつつ、協働のまちづくりを進めたい。

発掘・育成からその先を目指して

小林憲人議員

問 ボランティア人材の

答 本市には、さまざまな形で知恵や経験を発揮できる方々がいる。市民力を最大限に発揮できる仕組みづくりを研究したい。

市民をパートナーとして

鈴木啓太郎議員

問 未来政策会議が旧福岡高校の利用について検討を行い、3月に提言を

いつまでも暮らしやすいまち

…福祉

介護保険制度の見直しへの対策

山田敏夫議員

問 介護保険制度の見直しで、要支援者向けの通所介護・訪問介護が市の

地域支援事業に移行されるが、その対策は。

答 国からガイドラインが示される予定になっており、NPOやボランティア等の活用と「地域包括ケアシステム」を構

高齢者が自分らしく暮らすために

小林憲人議員

問 ケアプランを自ら作

築して、支え合いの地域づくりを進めていく。